

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」 にご注意ください!

【回覧】

被害の拡大防止に御協力をお願いします

1 クビアカツヤカミキリとは

サクラやモモ、ウメなどのバラ科の植物を食害して弱らせ、やがて枯らせてしまう害虫です。

繁殖力が強く、天敵がないため、速いスピードで増殖します。



2 クビアカツヤカミキリを見つけるには

(1) 成虫 活動期(6月～8月)に、被害を受けるおそれのある樹木を見回ってよく探します。

(2) 幼虫 幼虫は、成虫になるまでの2～3年を樹木の中で生活するため、普段、私たちが目にする機会はありません。幼虫は、樹木の内部を食害しながら成長するため、樹木に開けた排出孔からフンと木くずの混ざった「フラス」と呼ばれるうどん状の排出物を出します。幼虫の寄生は、このフラスの有無が最大の指標です。



木の根元に積もったフラス

木内部から押し出されたフラス

3 クビアカツヤカミキリの駆除について

(1) 成虫 見つけたら、必ずその場で潰して捕殺してください。生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています。

(2) 幼虫 ・フラスを掻き出し、排出孔から殺虫剤(ロビンフードや園芸用キンチョールEなど)を注入したり、針金などを入れ幼虫を刺殺します。
・幼虫が羽化して飛び出さないよう、6月までに木に防風ネットを巻き、定期的に見回ってネット内部の成虫を捕殺します。

脱出防止ネットは目合い4mm以下の丈夫なものを使用しましょう。



脱出できる隙間をつくらないこと!

- ① ネット端
主枝(幹から直接枝分かれし、木の骨格となる枝)にガンタッカー等で固定し、ひもでしっかり縛る
- ② ネット開口部
何重にも巻き込み、結束バンドで固定する
- ③ すそ
地面にペグで固定するか、地際でしっかり縛る
- ④ 樹木幹部分
ネットが幹と密着しないようにする

なぜなら 密着していると成虫がネットをかみ切る。また、ネット越しに産卵されてしまう。

ご不明点は
茨城県生物多様性センター
☎029-301-2940
または五霞町役場産業課
☎84-2582
へお問合せください

お役立ち情報はこちら

【町公式HP】



【防除方法】
環境省関連情報リンク集

